



社協 *naha* だより 12月号



月号



見守りしながらお弁当をお渡し

歳末たすけあい募金を活用した“地域見守り交流事業”



地域歳末たすけあい運動

今年度の募金目標は **11,151,000円**

今年度目標額!

ご協力よろしくお祈いします!



新型コロナウイルス感染症は、世界的レベルでのパンデミックによる影響で、社会活動の制限や経済も停滞する等暗い影を落としています。さらに、ロシアによるウクライナ侵攻は、世界的な食料危機やエネルギー供給からの電力不足となり、関係国の景気悪化や、国内の物価高騰など、国民の生活に不安を与えています。

このような状況の中、生活困窮者や社会的孤立者が増えつつあり、これまで以上に支援が必要とされています。県内においても福祉活動の財源となる共同募金の実績はこれまでにない大変厳しい状況が続いています。

令和4年度の赤い羽根共同募金運動の目標額は 39,713,000 円、実績額が 6,390,000 円 (10月31日現在) で引き続き募金の協力をお願いします。今年度的那覇市における歳末たすけあい募金運動は、「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに目標額は、(12月1日～31日)は 11,151,000 円で、昨年は 9,184,001 円 (前年度繰越金を除く) の善意の募金を寄せていただきました。歳末時期に、これまで活動でできなかった様々な事業を今年度は計画し、実施に向けて取り組む予定です。



街頭募金運動

Facebook・Twitter やってます! チェックしてみてください!



もくじ

社協 70 周年特集	那覇市社会福祉大会報告…… 4	活動アラカルト…………… 6	チャリティ公演… 8
地域歳末たすけあい運動… 1	赤い羽根手作り募金箱コンテスト	子どもと地域をつなぐサポートセンター糸… 7	フードドライブ募集
どのように使われているの?… 2・3	子どもと地域をつなぐサポートセンター糸… 5	相談窓口	お知らせ



みんなでささえあう あったかい地域づくり

「地域歳末たすけあい運動」は共同募金運動の一環として、地域住民やボランティア、NPO 団体、民生委員児童委員、福祉団体、社会福祉協議会等の関係機関・団体が協力のもと、市内で暮らす生活に様々な課題を抱え、環境の恵まれない方に、明るい年越しを迎えていただけるよう、歳末義援金等をお届けする運動です。市民をはじめ企業・団体からの善意の募金をお寄せください。

戸別募金一世帯 400 円・職域（従業員等）一人 500 円 を目安としています。



愛児幼稚園缶詰贈呈式



地域の活動を通して孤独感の解消

募金の用途は、生活困窮世帯等への金品の贈呈を直接行う他に、地域で開催する年末行事や当事者団体や障がいを持つ方が働く事業所の行事など、より多くの人に参加でき、かつ地域に密着した活動に使われる傾向があります。

こうした地域の行事は、孤立しがちな高齢者等が地域のつながりを強めると共に、ご近所同士で顔を合わせる場をつくる意味もあります。地域で楽しめる場にいろいろな人が参加して交流することで、地域の活性化や孤独感の解消にもなります。



災害時の備え、日頃の活動が大事

災害時でも、近所にどんな人が住んでいるかわからないような状態では、困ったことが起きてもSOS を出せない方も多いのではないのでしょうか。なんらかの活動を通じて地域の人たちが交流を持っていれば、緊急時にその人をサポートできる可能性も生まれてきます。日頃から支援を必要としている方への気づきや助け合いが必要です。



防災関連クイズ&グッズ展示

令和4年度歳末たすけあい運動事業内訳

事業項目	予算額(単位:円)	事業項目	予算額(単位:円)
見舞激励金支給事業	2,585,000	小地域福祉活動助成事業	2,114,000
地域福祉懇談会	140,000	歳末クリスマスケーキ贈呈事業	50,000
歳末お掃除隊事業	322,000	緊急医療情報キット配布事業	100,000
地域見守り交流事業	3,105,000	福祉教育啓発事業	100,000
障がい者紙オムツ支給事業	425,000	災害ボランティア事業	558,000
社協だより発行事業	1,652,000	合計	11,151,000



ありがとう
ございます!!



生活に苦しむ困窮世帯の方々へ 歳末たすけあい募金を活用し、様々な福祉活動を展開します

①見舞激励金支給事業

民生委員の調査をもとに生活困窮世帯（生活保護世帯除く）を対象にし、温かい新年を迎えてもらうため見舞激励金を支給します。（昨年度は 172 世帯に総額 2,287,800 円を支給しました）

②自治会・住民組織等 助成事業

福祉団体、当事者団体、自治会等が年末年始の時期に子どもからお年寄り、障がい者等との世代間交流活動や福祉団体・当事者による「クリスマス会」や「新年の集い」等に対して助成支援します。（昨年は 42 団体に総額 1,306,952 円を助成しました）

マスク配布や
食料支援配布の様子



③クリスマスケーキ贈呈事業

市内製造販売店の店舗にケーキのご提供を依頼し、地域の民生委員を通して、生活困窮の母子世帯や多子世帯等へお配りします。（昨年は 107 世帯へお配りしました）

毎年ケーキの
寄贈をいただいています



④地域見守り交流事業

地域の民生委員の協力のもと一人暮らし高齢者の孤独感の解消、社会参加を目的に「ふれあい昼食会」を市内 16 箇所に分かれて、公民館やホテル等を利用して実施してきました。コロナ禍の中においては、対面での集いを取りやめて、訪問など見守り活動を中心に実施しています。（昨年度 16 箇所民児協、総額 2,251,090 円を活用しました）



⑤歳末おそうじ隊、高齢者生活支援

良い環境の中で新年を迎えてもらうことを目的に、家内整理に困っている高齢者や障がい者の自宅を中・高校生のボランティアが訪問し、関係機関や企業の協力を得て年末のお掃除や、古くなった電球交換点検や寝具の洗浄等を実施します。

⑥紙オムツプレゼント事業

在宅で常時オムツを使用している方へ、在宅障がい者の生活支援とその家族の経済的負担の軽減を図ることを目的にプレゼントを実施します。（昨年度 49 人へ支給しました）



募金がどう使われているのか中央共同募金会には「はねっと」というデータベースがありますので、そこにアクセスしてみてください。共同募金会に集められた赤い羽根募金の使途が地域ごとに記されています。



第46回 那覇市社会福祉大会 開催



那覇市の地域福祉の発展に功労のあった方々への表彰と感謝の意を表すために開催している第46回那覇市社会福祉大会（主催：那覇市・那覇市社会福祉協議会）が、10月13日（木）にパレット市民劇場にて開催されました。

おかげさまで、今年は那覇社協創立70周年を迎え、その記念大会として、大会の表彰と併せて本会の事業推進にご尽力いただきました皆様への特別表彰も行いました。

ただ、コロナ禍により時間を短縮した形での式典となり、被表彰者の皆さま一人ひとりにご登壇いただくことが叶わず大変残念ではございましたが、記念動画の上映や那覇市歌体操をご来場の皆さまと踊るなど、終始和やかな雰囲気終了することができました。（下記、表彰一覧）



第46回那覇市社会福祉大会 大会長感謝

- ・多額寄付者 個人（1名）
- ・多額寄付者 団体（11団体）

大会長表彰

- ・特別功労者 個人（2名）
- ・特別功労者 団体（4団体）
- ・特別功労者 共同募金奉仕者団体（5団体）

社会福祉事業 特別永年勤続功労者（30名）

- 民生委員・児童委員として15年以上（17名）
- 社会福祉事業に25年以上従事（13名）

社会福祉事業 永年勤続功労者（37名）

- 民生委員・児童委員として9年以上（18名）
- 社会福祉事業に15年以上従事（19名）

那覇市社会福祉協議会創立70周年記念 表彰

- ・本会の評議員として、通算10年以上勤めた者（3名）
- ・本会に特別に功績のあった個人（4名）
- ・本会の事業に功績のあった団体等（19団体）
- ・本会の事業に功績のあった個人（37名）

那覇市社会福祉協議会創立70周年記念 感謝

- ・賛助会員通算10年以上（10万円以上）（25団体）
- ・本会に通算して300万円以上の金品を寄贈した個人（2名）
- ・本会に通算して50万円以上の金品を寄贈した個人（3名）
- ・本会の事業に功績のあった団体等（83団体）
- ・本会に功績のあった個人または団体等（60団体）
（コロナ禍における支援）



「赤い羽根(羽根イラスト)手作り募金箱コンテスト」を開催しました!

去る、10月1日にサンエー那覇メインプレイスにて「赤い羽根(羽根イラスト)手作り募金箱コンテスト」を開催し、今回10作品を展示させていただきました。ご応募いただいた皆様ありがとうございました!同時開催の出発式の参加者やお買い物にきた市民の方々に投票を行ってもらい入賞者を決定いたしました。どの作品も個性のある素敵な募金でした。入賞作品は市内での募金活動に役立てていきたいと思っておりますので、お見かけの際はぜひ募金のご協力をお願いします。(担当：久高)



最優勝者
小倉壮太さん



優秀賞
垣花咲さん



優秀賞
北代玲央さん

佳作

- 安藤真帆さん
- 伊集杏萌さん
- 新里愛佳さん
- 玉城百菜さん
- 照屋雄大さん
- 当真咲希さん
- 古川恵理さん
(五十音順)

居場所スタッフが「子どものかかわり方」学ぶ



発達障害や特性を持った子どもたちへのかかわり方を学ぶ研修を8月と9月に計2回開催しました。発達障害者やその家族、支援者等に対する相談支援を行う、「さぽーとせんたーい」の言語聴覚士・前田智子さんを講師に迎え、なほ子どもの居場所のスタッフの皆さんが参加しました。

前田さんは「表に現れる問題行動を子どもたちのSOSと捉え、本人が感じている困り感を軽減するために必要な工夫を一緒に考える。小さくとも成功体験を積み重ねていけるように手助けするのが支援者としての役割」と話し、気になる行動の背景にある子どもの気持ちや感覚に目を向ける大切さを伝えていました。グループワークなどを通じて、具体的にどのような声かけをしていけば良いのかを学べる研修となりました。(担当：松長)

子どもの権利条約フォーラム 12月10日・11日に開催

「子どもの権利条約」について考えるフォーラムが12月10、11日に開かれます。全国で毎年開かれていて、今回は第30回記念大会。沖縄では初めての開催です。沖縄大学やオンラインで開催、メインセッションのほか、30分科会、プレパークもあり、学びや遊びのプログラムになっています。みなさんぜひ、申し込みください。参加無料。

那覇市社会福祉協議会（子どもと地域をつなぐサポートセンター系、子ども食堂サポートセンター那覇）も実行委員会に入っており、10日に「子どもの権利条約と子どもの居場所」というテーマで分科会（意見交換会）を開きます。詳細・申し込みは右記のURLやQRコードから。(担当：月坂)

申し込みは右記QRコード
または下記URLからどうぞ。

<https://kodomokenri.okinawa.jp>

沖縄大学子どもの居場所ボランティア講座



10月12日（水）に、沖縄大学でボランティア講座が行われました。子どもと地域をつなぐサポートセンター系と、なほ子どもの居場所ネットワークから「OKINAWAはぴちる子ども食堂」「にぬふぁぶし」「のびのび広場」の3つの居場所が参加し、那覇市における子どもの居場所について、学生にお話をさせていただきました。「ボランティアに興味はあるけど何をしたらいいのかわからない」など学生から様々な質問がありました。そういった質問に対し、居場所のみなさまから丁寧に回答をしていただき、とても良い学びの時間になったと思われました。(担当：月坂)





かなぐすく児童館 巨大絵制作



那覇市総合福祉センター内に飾られている大きな絵をご存じでしょうか？

児童館を利用している子どもたちと一緒に毎年テーマを持って制作してきた巨大絵作品です。

今年のテーマは「首里城」。市制 100 周年を迎えた那覇市のシンボルを全面に描き、今回は隣接する那覇西高等学校の美術部の皆さんにも協力を頂きました。高校生の描いた首里城に、小学生の自画像を加え、装飾や背景には中学生、未就学児も制作活動に参加。幅広い年齢の児童が関わった巨大絵は 0 歳から 18 歳までの児童生徒が利用する児童館の象徴的な作品となりました。

多くの皆様にご覧いただけたら嬉しいです。(担当:村吉)



令和 4 年度から 「真和志地区地域活性化委員会の相談役」になりました!

真和志地区では、自治会・企業・学校・関係機関等と連携して地域を活性化する事業を行っています。地域の情報交換・学習活動・後継者育成・青少年の健全育成・高齢者の生きがいづくり等の地域づくりを行っています。

昨年度の活動の一部では、繁多川公民館で九州物産展を開催し、売上収入の一部を地域後継者育成助成金の資金に活用されました。

今年度も資金造成事業として企業とタイアップした企画も実施しながら、大学生とも連携してボランティア活動、緑化運動、歴史・文化など魅力発信、マップづくり等を行い活動の幅を広げるプロジェクトを実施する予定となっています。

今回、初めて西平委員長と那覇市社協職員で意見交換会を行いました。地域見守り隊・サロン・ふれあいデイサービス等とも連携して、ゆいまーの輪を広げて地域づくりに取組んでいきたいと思えます。(担当:山城)



街歩きでおさんぽウォーク

10月23日(日)に那覇市地域包括支援センター城岳が主催した、「街歩きおさんぽウォーク」に参加してきました。当日の天候が気になりましたが、たくさんの方が集まり那覇市役所正面玄関広場を10時スタート。60歳以上を対象に街歩きをしながら、泉崎の史跡ポイントで歴史について学ぶウォークを楽しんでいました。ポイントでの説明では、足りない部分を参加者が語ってくれる場面もあつたり、ウォーキング指導や靴選びアドバイス等盛りだくさんの企画でした。みんなでゆっく歩きながら泉崎の歴史を学ぶ楽しい時間が過ごせたと思えます。次回の企画が楽しみです。(担当:前川)



損保ジャパン寄贈



10月11日に、日頃から地域貢献を行っている損保ジャパン様よりお菓子や食品、お米券などを含む 331 点の寄贈がありました。

これらの物資は、なは子どもの居場所ネットワーク加入の居場所で活用させていただきます。食の支援はもちろんのこと、学習支援や遊び場提供の居場所でもお菓子や食糧のニーズは多くあります。特にこれから年末にかけてハロウィンやクリスマス、そしてお正月などイベントを行う居場所も多くいるでしょう。

子どもたちが笑顔で過ごすことができる居場所を維持するためには、物的・人的の支援は欠かすことができません。損保ジャパン様ありがとうございました。(担当:月坂)



なは社協 相談窓口のご案内

ふれあい福祉相談室 ☎ 857-7780

生活上の心配ごと、悩みごと、どのようなことでも気軽に相談できる一般相談・司法書士相談があります。
(秘密は厳守で相談は無料です)

生活福祉資金貸付事業 低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者の属する世帯に対する資金貸付

司法書士専門相談 毎月 第 2 金曜日 / 午後 2 時 ~ 4 時 予約制
弁護士専門相談 奇数月 第 4 金曜日 / 午後 2 時 ~ 4 時 予約制

ボランティア活動・行事用保険 ☎ 857-7766

ボランティア活動・行事用保険は、ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや賠償を補償します。

デイサービスあしびなー ☎ 080-1739-1355

利用者の方々が住み慣れた地域から通い、日々、生きがいのもてる暮らしを応援し、ご家族の身体的、精神的な負担を軽減します。

障がい者生活支援センター「ゆいゆい」 ☎ 891-8454

在宅で生活する障がい者が「自分らしく」暮らしていけるように支援をしています。 FAX.857-6052

- ピア (同じ仲間) サポート
- サービス利用計画の作成

地域福祉権利擁護センター ☎ 857-4525

日常生活自立支援事業 FAX.857-6052

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などで、自分で判断することが難しい方々の福祉サービスの利用手続きや、医療費・公共料金の支払い等の日常的な金銭管理のお手伝い、書類の預かりサービスを契約に基づいて行っています。

居宅介護支援事業 ☎ 891-8236

FAX.859-8388
安心して在宅生活が営めるように、家族、医療、介護保険サービス事業所等と連携を図ると共に、社会資源を活用しながら支援を行ないます。

ホームヘルプステーションわかば ☎ 859-8383

FAX.859-8388
ご自宅に介護専門職が訪問し、身体介護及び生活支援サービスを提供します。

- 訪問介護
- 総合事業
- 障がい福祉サービス

医療保険療養費支給申請ができます

ご自宅や介護施設まで出張施術します



沖縄本島全域、および宮古島、伊良部島、石垣島、八重山諸島、久米島、伊江島で訪問治療します。

治療内容 はり、お灸、マッサージ

琉球治療院

詳しくはwebを検索! 琉球治療院

検索

お気軽にお問い合わせください 【営業時間 9:00~18:00】

☎ 0120-680-006

那覇市社会福祉協議会 創立70周年記念

チャリティ公演開催



本年度で創立70周年の節目を迎え、平素よりご理解・ご協力を頂いている市民の皆さまへこれまでの感謝の気持ちを込めて、チャリティ公演を開催いたします。歌や踊り、お笑い、ご来場いただく皆様楽しんでいただけるようなバラエティーに富んだプログラムとなっております。また、公演の収益は、今後も多様化する福祉ニーズに対応するため、地域福祉活動に活用してまいります。皆様の、ご来場お待ちしております。

日時 2023年1月7日(土) 開場 14:30 開演 15:00 / 式典の部 15:00 ステージの部 16:00

場所 那覇文化芸術劇場なは一と 入場料 1,000円 チケット販売中!!

※直接那覇社協にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください



那覇市社協関連
12月1月の
主な行事

- 12/1(木) 那覇市民生委員児童委員厚生労働大臣委囑状交付式 13:00 ~ パレット市民劇場
- 12/10(土) 歳末おそうじ隊事業 実施
- 12/19(月) 令和4年度家庭支援員養成講座(1日目) 10:30 ~ ともかぜ振興会館
- 12/20(火) 令和4年度家庭支援員養成講座(2日目) 10:30 ~ 沖縄産業支援センター
- 12/21(水) 令和4年度家庭支援員養成講座(3日目) 11:00 ~ ともかぜ振興会館
- 12/21(水) ラジオ番組「それいけ!みんなのなは社協」 19:00 ~ 20:00 FM なは
- 12/23(金) 第3回生活支援サポーター養成講座 9:00 ~ 沖縄県立美術館
- 12/28(水) 仕事納め
- 令和5年 1/4(水) 仕事始め
- 1/7(土) 創立70周年記念チャリティ公演 開演 15:00 那覇市民文化芸術劇場なは一と

「もったいない」を「ありがとう」に変える

フードドライブ

ご家庭で、使いきれないなどで保管したままになっている「もったいない食品」などを、那覇市内の郵便局窓口(郵便専門局は除く)にある「フードボックス」へお寄せください!

那覇市内の各子どもの居場所等でおいしい食事として生かされます。

ご寄付いただきたい食品 ※保存がきくもの(アルコールは不可)

お米・粉もの・缶詰・レトルト食品
インスタントラーメン等の乾麺・お菓子
缶やペットボトルに入った飲料など



寄付食品の条件

- 未開封の食品 (包装や外装が破損していないこと、中身に異常がないこと)
 - 常温で保存が可能な食品
 - 賞味期限が1か月以上残っている食品 (賞味期限が明記されていること)
 - 製造者名が記載されている食品
 - お米は精米日から一年以内のもの
- ※お寄せいただいた食品について、腐敗等、使用に適さないと判断した場合、処分させていただく場合があります。ご了承ください。
(担当：子どもと地域をつなぐサポートセンター系)

ご協力を
お願いします!



寄附者ご芳名

令和4年10月1日~
令和4年10月31日までの
寄附金状況(敬称省略)

217,893円

一般寄付

- ・金城盛徳
- ・長嶺美佐子
- ・本願寺沖縄別院
- ・中内一郎
- ・小山田晴美
- ・オバタケイコ
- ・株式会社池原商事



おきぎんスマート

- ・ちばりよーな〜ふあ 13件/7,100円
- ・な〜ふあゆいまーる 20件/218,800円

令和4年4月1日~令和4年10月31日

寄付金総額

6,624,356円

※那覇市社会福祉協議会が実施する事業及び福祉サービスにおいては、個人情報保護規定を定め、個人情報の種類・利用の目的・提供方法について、適法かつ適性な方法で対応いたします。